



アスベストが使用されている町民センターボイラー室

アスベスト対策について

現在、対応を検討中

質問 アスベスト対策についてその状況は。



小林 節子 議員

答弁 公共施設のうち6施設でアスベストが確認されました。清泉荘機械室・消防署ボイラー室・町民センターボイラー室・海洋センター機械室と器具庫・

小六ポンプ場機械室・八ヶ岳ポンプ場機械室です。区有施設についても区長さんに依頼しその対応を検討しています。問い合わせは建設課・生活環境係を窓口としています。

また小中学校では4校で建材等の中含まれていると考えられますので、定性分析を確認しています。

防災・災害対応は体制づくりが大事

質問 防災・災害に女性の関わりを重視する考えは。

答弁 防災・災害は行政機関等だけでは十分に対応出来ませんので、初期対応は近所の体制づくりが大事であると

考えます。現在自主防災組織の立ち上げをしていますが、女性の視点も重要ですので積極的に参加して頂きたいと思っています。自主防災組織には、防災資機材を整備する時、3分の2以内で最高30万円の補助金を交付しています。

最重要課題は何か

自立にむけての道筋づくり

質問 2期目の町政運営での最重要課題は何か。



池久 長 議員

答弁 自立に向けての道筋づくりになります。行政のスリム化・集落への自発的な取組みの援助・子ども課(仮称)による子育て支援・防災の組織作り・水資源

対策、そして開発公社の健全な運営への道筋づくりです。

開発公社については、自立できる運営と財政支援の時期と方法が考えられます。更に土地開発公社の取り扱いについても取組みます。

助役を一人にした理由は

人員削減などを率先した

質問 助役一人制にした理由は。山積する課題に取組むには二人制で行くべきと考えるがどうか。

答弁 今後の人員削減などを率先するために一人制にしました。

1期目でつけた大きな道筋を、一人助役で進める覚悟ができましたので一人制にしました。これは選挙公約を作る前から決めていたことで、産業振興などの多くの課題に全力で取り組んでいきたいと考えています。